

第2回 市教研養護教諭部ブロック別研修会

期日：令和7年8月1日（金）

場所：ブロック別各会場

第2回養護教諭部ブロック別研修会は、各ブロックに分かれて演習を交えた講話を聞いたり、保健室訪問をしたりしました。

今回は終日開催であったので、時間も十分に確保でき、資質・能力の向上に繋がる充実した研修会となりました。



【研修会の様子】

1 ブロック



○講話「俯瞰して見る養護教諭の大切さと重要性」

講師：北浜東小教諭（浜松市養護教諭巡回指導員） 田中 公子

○日常職務の情報交換（校種別・校区别研修）

子供たちの命を守るための安全配慮義務を果たすために、対応の仕方や準備等について具体的に考えることができました。記録をとる時には「見える化」することが重要であると学び、情報を共有することで教職員の安全意識を高められると実感しました。子供たちの情報を自分だけのものにせず、日ごろから教職員と連携し、危機対応の体制を整えていきたいです。

今後は、シミュレーション研修を積み重ねることで、迅速かつ適切な判断力を養い、教職員全体の危機意識向上に向けて実践を積極的に行っていきたいです。



2 ブロック



○講話「子供を支える多職種連携～学校・福祉との連携～」

講師：浜松市中障がい者相談支援センター 藤田 知子 氏

○施設見学 聖隷こども発達支援センター和合 聖隷チャレンジ工房和合

○保健室備品 消耗品の検討

講話や施設見学を通じて、新規相談から利用に至るまでの流れを理解し深めることができました。子供の特性をふまえ、その子供と家庭に寄り添った支援を行い、学校も子供を支える支援者の一員として、連携していくことの重要性を改めて確認できました。

物品等の紹介では、実際に商品を見ながら、保健室備品取扱業者より機能や使用方法について学ぶことができ、健康診断や救急処置の対応に向けて、商品選択や物品購入の参考になりました。また、各校で工夫している便利グッズについて「処置しやすい・整理しやすい・指導しやすい」といった観点から多数の情報を共有でき、日々の職務に役立つ情報を共有することができました。



3 ブロック

○講話「養護教諭の ICT 活用について」

講師：浜松市教育委員会 教育センター指導主事 殿柿 弘行 氏

○日常の職務の情報交換（校種別研修）

ICT 研修では、養護教諭が効果的に ICT を活用するための具体的な方法を学ぶことができました。中でも、オクリンクプラスを用いた実践は、保健指導や養護教諭の職務の質の向上につながると感じられました。今後も積極的に ICT を活用し、より充実した学校保健活動を実現していきたいです。

また、校種別研修では、新しく導入された T-port、保健教育の実践、危機管理対応等について、他校の取り組みを知ることができました。校種別に行うことで、すぐに役立つ情報を共有でき、今後の実践に生かしていきたいです。



4 ブロック

○講話「養護教諭のための T-port 研修」

講師：大瀬小教諭 菊地 寛

○施設見学 校外まなびの教室「ぬくもり教室」見学

指導員：塚田 美奈子 氏

○日常職務の情報交換

T-port 研修では、実際に T-port や Google ドライブにログインし操作をしながら研修することで、新たな機能に気が付いたり、使いやすい操作を知ったりすることができました。

「ぬくもり教室」の見学では、学校に行くことが困難な子供たちやその保護者の様々な思いを受け入れてくれる場所として、「校外まなびの教室」があることや、そこで救われる人がたくさんいることを教えていただきました。子供たちが心のエネルギーを貯めて、「また学校に通いたい」という気持ちに向くよう、個に寄り添った活動を行っていることを知り、校内の受け入れ体制や支援体制を整える必要があると感じました。



5 ブロック

○講話「校内まなびの教室について」

講師：北浜北小 校内まなびの教室指導員 中田 佳奈江 氏

○日常職務の情報交換（校区別研修、T-port の活用について等）

講話では、校内まなびの教室を見学しながら、子供への関わりはもちろんのこと、教室整備や掲示、保護者への便りや担任との記録のやりとり等、子供への思いや一人一人への細やかな配慮を知ることができ、保健室経営にも生かせるヒントをたくさん得ることができました。

日常職務の情報交換では、今まで知らなかった T-port の便利な機能や分からないことを共有することができました。また、緊急時に必要となる近隣の医療機関の情報等も得ることができ、今後の職務に効果的に活用していきたいです。



6 ブロック



- 講話 ICT 研修「つながろう6ブロック・助け合おう6ブロック」
講師：雄踏小教諭 中村 貴之
- 衛生用品、保健室備品の検討及び教材の情報共有
- 保健室見学 神久呂小学校

ICT 研修では、T-port の保健機能の課題点を知り、利用上の注意や Google スプレッドシート活用方法を実際に演習することで、今後の職務に生かす方法を学ぶことができました。

また、物品等の紹介では、実際に商品を見ながら、保健室備品取扱業者より機能や使用方法について学ぶことができました。保健室備品や教材の情報交換をすることで、職務を見直す良い機会となりました。ブロック内にある小学校の保健室を見学することで、新たな工夫知り自校の保健室経営に取り入れるヒントを得ることができました。



7 ブロック



- 講話「思春期男子へのセクシュアリティ教育」
講師：NPO 法人リプロダクティブヘルス研究会
浜松市助産師会 副会長 宇田 公美子 氏
- 日常職務の情報交換

講話から、思春期男子におけるセクシュアリティ教育を知り、その必要性を確認することができました。また、実験を通して、目に見えない性感染症が、知らないうちに簡単に広がっていく様子を実感することができ、子供たちに性感染症の危険性を伝える教育が大切であることを学びました。

日常職務の情報交換では、熱中症について各校で工夫している取組を共有し、それを参考にして自校の取組の参考となる具体的な情報を得ることができました。また、お勧めの物品や、保健指導や職員会議の提案文書等、具体的な紹介もあり、学びを深めることができました。



8 ブロック



- 講話「児童養護施設の現状と学校との連携」
講師：社会福祉法人葵会 すみれ寮職員 弘中 彬子 氏
- ヒヤリハット事例検討
- 日常職務の情報交換

天竜区内に児童養護施設があることを知らなかった養護教諭も多く、貴重な機会となりました。すみれ寮で初めて心身の安心・安全の保障が得られ、信頼できる大人の存在を知る子どもがいるという現状や、高校・大学への進学や就職して自立した後も、つながりを保ち続けているという現状を知り、深い感銘を受けました。

また、ヒヤリハット事例検討では、まだ経験のない救急対応について迅速に判断することやグループで意見を出し合うことで、新たな視点や対応を学ぶことができました。

